

### 第3学年学習スケジュール（一貫コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
国語	<p><b>【現代文】</b> 休校前のプリントで、共通テストの解き方や、記述問題への取り組み方について指示しました。大学入試センター試験の過去問や大学の過去問を利用して、問題へのアプローチの仕方を学んでください。</p> <p><b>【古典】</b> 指示された予習と「漢文必携」の例文暗記に取り組んで下さい。古文に比べ、漢文への取り組みがまだ不十分ですので、この機会に「漢文必携」を頭に叩き込みましょう。余裕がある人は問題集を解き進めましょう。</p>	<p><b>【現代文】</b> Classiを使いながら、『「なぜ」に答えられない科学』（教科書226頁～230頁）を扱い、その後、『舞姫』（310頁～339頁）に入ります。本文読解と並行して本文に関する記述問題を出し、記述力を養成します。また、選択肢を自ら作成する問題を課すので、選択問題を分析的に解く視点を身につけましょう。</p> <p><b>【古典】</b> 授業では引き続き、古文・漢文を読み続けます。苦手分野の復習は夏休みまでに終わらせるべきです。古典文法が苦手な人は文法書を、古典単語が苦手な人は単語帳を再確認しましょう。そして「漢文必携」の例文暗記も継続させましょう。</p>	<p><b>【現代文】</b> 授業内では、大学入試センター試験の過去問や大学共通テスト対策問題集を使用し、共通テストの選択肢問題を解くトレーニングをします。また、入試で小論文が必要な人の添削指導を開始しますので、夏休み期間中に大学の過去問を解いて持参してください。</p> <p><b>【古典】</b> 夏までに培った土台をいよいよ実践力に活かしていくときです。授業では過去問演習に取り組みます。同時に添削指導も開始します。ここで文法力や単語力が未熟では話になりません。この時期に基礎力が完成している自分をイメージして、夏までの取り組みを頑張らねばなりません。</p>	<p><b>【現代文】</b> 休校中は教科書についての読解と問題をClassiで配信するので、必ず確認してください。読解力を維持するために、短時間でもいいので毎日教科書や問題集を「読む」習慣を続けてください。</p> <p><b>【古典】</b> 引き続きClassiで教科書の解説を配信するので、予習をして臨み、自分で確認をしてください。同時に「漢文必携」の例文も配信しているので活用してください。そして、配信を見たら必ず「見ました」をクリック！！</p>	<p>大学入試記述問題の添削を希望する人は、随時受け付けていますので、持参するか、Classiで連絡をください。</p>
数学	<p><b>【理系】</b> テキスト「入試の核心」を進んでもらいます。進むペースをClassi上で毎日指示していますから、遅れないように気をつけてください。Zoomでの質問受け付けも定期的に行っています。</p> <p><b>【文系】</b> 高校2年までの復習の添削課題をClassi上で週3回提示していますから、遅れないように取り組んでください。</p>	<p><b>【理系】</b> 現在の取り組みを進んでもらいます。テキストが終わった後も、既習内容の復習を主に青チャートと配布のプリントを用いて行います。</p> <p><b>【文系】</b> 9月くらいまでに復習用の問題集を終える予定です。数学Ⅱ・Bは手が回らない生徒が毎年ちらほらいます。与えられた課題以外にも問題集やチャートなどに取り組み、基礎力を完成してください。</p>	<p><b>【理系】</b> 自分のレベルに合わせた問題をたくさん解いてください。学校では、共通テストの対策をしつつ、同時に志望校の難易度別に分かれた演習を行う予定です。これに関しては添削の指導も行いますので、希望者は申し出てください。授業によっては全員に添削の課題を課すことがあります。</p> <p><b>【文系】</b> 志望校のレベルに合わせた問題をたくさん解いてください。学校では、共通テストの対策をしつつ、同時に志望校の難易度別に分かれた演習を行う予定です。これに関しては添削の指導も行いますので、希望者は申し出てください。講座によっては全員に添削の課題を課すことがあります。</p>	<p><b>【理系】</b> Classiではペースの指示の他に問題を解く際に意識することも伝えています。わからない場所を残さないようにしてください。Web上でも質問ができますから、うまく活用しましょう。</p> <p><b>【文系】</b> Classiではペースの指示する他に受験勉強に際しての注意事項等も配信する予定です。また、添削問題等わからない場所があったら、Web上でも質問ができますから、うまく活用しましょう。</p>	<p>分野に関して理解が足りないと感じた場合、「まず教科書を読み、その後に演習問題を解く」という基本の学習方法に立ち返るとよいと思います。もちろん教師に質問してもよいので、連絡をください。</p>

### 第3学年学習スケジュール（一貫コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
英語	<p>春休みから5月6日までの課題は、以下のことをねらいとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構文力、文脈把握力を確実にすることを目的に、「基礎英文問題精講」で精読演習を、情報処理能力、問いを的確に把握する力、速読力を高めることを目的に、「共通テストドリル」で演習を行いましょう。</li> <li>・表現力の基礎となる文を発音できて書けるようになるように、「よくばり英文」の例文を覚えましょう。</li> <li>・リスニング力、速読力を高めることを目的に、シャドウイング、「Play On」での演習を行いましょう。また、ラジオ英会話、CNN 10、Breaking News Englishの視聴、シャドウイングは毎日、短時間で良いので継続することとしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな課題を出しますので、演習を重ねましょう。「読む」「聴く」「思考する」「理解する」「表現する」ことを、速度を上げて正確にできるように、精読、速読、シャドウイング、リスニングの演習を続けます。その中で、語彙や文法・語法の力が不足していると感じることがあると思いますから、文法をランダムに配列した"The Reflex"を併用します。語彙力の確認は、DataBaseを基にした授業外小テストで行ってください。</li> <li>・リスニング問題で正解するためには、問題と選択肢を速く正確に読まなければなりません。語彙力、文法力が不足していると感じる人は、夏休みまでに補強しておきましょう。語彙は、DataBase4500以外なら、Z会の「速読英単語 必修編」「速読英単語 上級編」を薦めます。文法は授業で使った「英文法・語法1000」を、「スタディポイント」も含めて復習しましょう。</li> <li>・志望校の過去問を、必ず解いておくこと。自分の今の力とのギャップを見極め、何をすべきか考え、実行しましょう。</li> </ul>	<p>授業内で共通テスト対策として、共通テスト型の演習をしていきます。平行して、記述力を高めるための演習を重ねていきます。「読む」「聴く」「思考する」「理解する」「表現する」ことを、速度を上げて正確にできるように、精読、速読、シャドウイング、リスニングの演習を続けます。早く正確に、難しい文章を理解しながら読めるように、あるいは聴けるように、和文英訳では日本語の内容を正しく理解し、その内容を英語で表現できるように、論理的に書けるように、演習していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日問題を解き、語彙、文法・語法、構文を身につけ、読む速度を上げましょう。問題を解くときは、目安の解答時間を決め、時間内に解答しましょう。どうしても時間が超過する人は、解くことを優先し、解答・解説を読んだ後、今度は時間内に解答できるようにもう1度復習しましょう。</li> <li>・シャドウイング、リスニングを毎日続けましょう。</li> <li>・今まで受けた模擬試験の復習をし、出てくる語彙や文法・語法など、解説に書いてある内容を確実に身につけましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文解釈、和文英訳、英語表現の添削を希望する人は、申し出てください。</li> <li>・語彙だけ、文法だけ、と集中的に勉強するのではなく、「読む」「聴く」「書く」「話す」「そのすべての基礎」をらせん階段のイメージで勉強しましょう。</li> <li>・文法、語法、構文、読解では、なぜそう解答するのか説明できるようにする習慣をつけましょう。</li> <li>・問題を解く場合には、設問の意図を適切に読み取り、的確に答えることを意識しましょう。</li> </ul>
物理	<p>できる限り早めに残っている力学分野（円運動・慣性力・単振動・万有引力）を終わらせましょう。①教科書をしっかり読みましょう。②教科書の問題や傍用問題集などの簡単な問題で知識の定着を図りましょう。③ネットなどの環境が利用できる場合はネット動画も参考にしましょう。④質疑応答は、何らかの方法で行いましょう。</p>	<p>力学と力学的波動（光波を除く波動）の演習問題をこなしましょう。</p>	<p>光波や電磁気学を集中的に行います。現在の教科書を終える目標は、12月初旬です。教科書の進行と問題演習がほぼ並行して行われていきます。夏以降は、理社にパワーを割けるだけの余力ある学習をしておいてください。</p>	<p>既習分野の基礎固めをしましょう。次に、未習分野を予習していきましょう。反転学習は難しいと思いますが、ある程度予習をしておいた方が内容が自然に頭に入ることでしょう。</p>	<p>現在、「良問の風」を用いた添削演習を行っています。参加希望者は福島まで。</p>
化学	<p>単元別入試演習</p>	<p>左記演習を継続します。適宜、模試過去問等を利用した演習をおこないます。また必要に応じて、基礎的な内容の確認をおこないます。</p>	<p>左記を継続します。ただし、共通テスト演習を適当な回数実施します。</p>	<p>時間割どおりに演習を中心として学習をします。</p>	<p>単元別入試演習は二次試験向けです。また一回の演習は、だいたい標準&amp;やや難の組み合わせになっています。</p>

### 第3学年学習スケジュール（一貫コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
生物	<p>【生物学探究Ⅱ】</p> <p>Classiで講義資料を定期配信する事で進め、その内容についてZoomを使った講義を試行しました。中学3年～高校1年にかけて学んだ内容を深める部分について進めています。基本的な理解はできていると思われませんが、その理解度には差があるのではないかと考えていますが、その測定がしにくいことが課題です。</p>	<p>【生物学探究Ⅱ】</p> <p>これまで通りClassiでの定期配信に加えて、Zoomを使った授業を週に1回は実施して、学習を進めていきます。次は遺伝情報についての単元(第2編)に進みます。これまで同様、生物学探究Ⅰでの既習事項を深める単元です。その後は、第3編「生殖と発生」へと進んでいきます。</p>	<p>【生物学探究Ⅱ】</p> <p>夏休み明けには第4編、第1編と進め、第5,6編については、確認しながら、合わせて1～4編の問題演習を進めていきます。</p>	<p>【生物学探究Ⅱ】</p> <p>新しい内容についてのオンライン授業は、これまでより難しいと思われれます。Zoomを用いた双方向の授業も取り入れていきますが、自分自身で学習を進めることが大切です。教科書を丁寧に理解し、わからないことを積極的に質問することを心がけてください。問題集のページを課題として課すことはしません。理解を深めるために、必ず取り組みましょう。</p>	<p>【生物学探究Ⅱ】</p> <p>質問は、随時受け付けていますので、どんどん質問してください。</p>
地学	<p>2年次に学習した内容(第一部 固体地球とその変動、第二部 移り変わる地球、第三部 大気と海洋)を、3年次に購入したチェック&amp;演習を活用してしっかり復習してください。チェック&amp;演習では、第一編 活動する地球、第二編 移り変わる地球、第三編 大気と海洋に相当します。まず要点チェックで教科書や授業プリントも参照しながら、基本事項の整理をしてください。その上で基本演習、例題演習、重要演習で問題演習をおこなうと良いでしょう。問題はすべてこれまでのセンター試験の過去問で、この順に難易度が上がっていきます。</p>	<p>6月から授業が始まれば、2年次の続きで第三編 大気と海洋の残り、第五編 自然との共生を学習する予定です。</p>	<p>まず残っている第四編 宇宙の構成を学習し、その後は授業内でチェック&amp;演習を基本的に自学自習の形でおこない、同時に質問等があれば受け付けます。その後は、模試の過去問等を行う予定です。</p>	<p>現在取り組んでいるチェック&amp;演習を活用した2年次の復習を進めてください。休校が長引いているので、例年後期に授業内で行っているチェック&amp;演習の時間があまり取れないかもしれないので、この間に出来るだけ進めておいて下さい。</p>	
日本史	<p>教科書p198～248までを「10分間テスト」や「日本史総合テスト」で学習すること。Classiで『「受験の日本史」通信』や各単元の動画を配信しています。</p>	<p>教科書p317まで進みます。休校中はClassiで『「受験の日本史」通信』や各単元の動画並びにチェックテストなどを配信します。</p>	<p>「夏休みを制する者は受験を制する」と昔からいわれています。原始・古代から徹底的に復習すること。問題を解いてできなかったところはほったらかしにしないように。解説を必ず読んで理解し、教科書で確認するようにしましょう。</p> <p>11月下旬から大学入試センター試験の過去問演習や共通テスト対策演習を始めます。</p>	<p>「主食」は教科書。まず教科書を読み「流れ」を理解（インプット）→「10分間テスト」や「日本史総合テスト」で問題を解いて理解できているかどうかをチェック（アウトプット）→動画を見てその単元の内容を再度インプットする。という学習サイクルを繰り返しましょう。</p>	<p>授業でやった箇所については「アウトプット」中心。まだ授業でやってない箇所については教科書や動画で情報をインプットすることが中心ですよ。</p>

### 第3学年学習スケジュール（一貫コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
世界史	教科書p209～282までを「10分間テスト」で学習してください。また、授業プリントをClassiにアップロードしたので、補助教材として活用してください。Classiで各単元の解説や動画を配信しています。	教科書p338まで進みます。休校中は解説・動画・補助教材としてのプリントをClassiで配信します。	夏休みを利用して、古代から徹底的に復習して下さい。そろそろ一問一答式の問題集を購入するとよいでしょう。 11月から大学入試センター試験の過去問演習や共通テスト対策演習を始めます。	平日は毎日Classiで解説や動画を配信するので、必ず見て下さい。	
地理	【地理特講】 Classiで配信している2年次学習内容の概要に取り組んでください。 【地理学概論】 チェック&演習地理Bの系統地理の分野（最初から）に取り組んでください。	【地理特講】 地誌的分野に取り組めます。配布プリントで学習を進めていってください。並行して2年次購入しているサクシード地理の地誌的分野（120分以降）に取り組んでください。 【地理学概論】 授業では模試の過去問演習中心に取り組めます。引き続きチェック&演習地理Bの系統地理の分野に取り組んでください。また、地誌的分野（90分以降）にも取り組んでください。	【地理特講】 引き続き地誌的分野に取り組めます。配布プリントで学習を進めていってください。並行して2年次購入しているサクシード地理の地誌的分野（120分以降）に取り組んでください。 【地理学概論】 模試の過去問演習に加え、10月以降は大学入試センター試験の過去問演習に取り組めます。チェック&演習地理Bの地誌的分野（90分以降）にも取り組んでください。	2年次に学習した内容について、教科書や資料集を使って復習してください。Classiで配信するものも使ってください。復習する際、必ず地図帳を使用してください。	
倫理	教科書の単元毎に精読し、「完全マスター 倫理問題集」に取り組んでください。「基礎」「発展」の部分は必ず覚えきること。その後に「演習問題」に取りかかってください。「プレテスト 解明編」までやりきること。四択問題の誤答は、どこが間違っているのかを指摘できるところまで正確な知識を身につけてください。「倫理ノート」で要点を確認し内容を覚えてしまうのもよいでしょう（丸暗記では共通テストは対応できません）。 7月中旬には問題集をやりきってください。問題集（答え合わせしたもの）そのもの若しくは問題集の解答を書いたものを提出してもらいます。		自分の苦手な分野の克服に時間をかけてください。教科書や資料集を用いて <u>思想の内容をしっかりと自分の言葉で説明できるようにしてください。</u> 教科書（「倫理ノート」）が終了次第、授業時間にセンター演習を始めます。 夏休み明け以降は、模試過去問を分野別に整理したものに組み込んでもらいます。答え合わせをしたものを、提出してもらいます。	教科書と資料集を精読しながら、 <u>思想の内容を自分のことばで説明できるところまで理解を深めてください。</u> 基礎的な内容は「NHK 高校講座 倫理」の中から自分の聞きたいところを聞いてみるのもよいでしょう。	
政経	教科書の単元毎に精読し、「チェック&演習 現社/政経」に取り組んでください。「要点チェック」の部分は必ず覚えきること。その後に「問題演習」に取りかかってください。「第2部 実践力アップ」までやりきること。四択問題の誤答は、どこが間違っているのかを指摘できるところまで正確な知識を身につけてください。 7月中旬には問題集をやりきってください。問題集（答え合わせしたもの）そのもの若しくは問題集の解答を書いたものを提出してもらいます。		自分の苦手な分野の克服に時間をかけてください。教科書や資料集を用いて内容をしっかりと自分の言葉で説明できるようにしてください。 教科書（「サクシード政経/倫理」）が終了次第、授業時間にセンター演習を始めます。 夏休み明け以降は、模試過去問を分野別に整理したものに組み込んでもらいます。答え合わせをしたものを、提出してもらいます。	教科書と資料集を精読しながら、内容を自分のことばで説明できるところまで理解を深めてください。 基礎的な内容は「NHK 高校講座 政治・経済」の中から自分の聞きたいところを聞いてみるのもよいでしょう。	